

ヒシを見る

ワカサギにも脂ビレがある



アイヌ語名は()内に

背ビレは一つ、とは限らない



ハナカジカ (スマクンペ、ウッカコリペ)
背ビレを2つもつ

背ビレは一つだけの魚が多いのですが、中にはカジカの仲間のハナカジカやハゼの仲間のウキゴリ、ジズカケハゼ、ヨシノボリなど2つ背ビレをもつ魚もいます。



ウキゴリにも2つ背ビレがある

脂ビレ - 小さくても大きな特徴

ヤマメやニジマスなどサケの仲間の魚には、背ビレの後の方、尾ビレの少し前に小さなヒシがあります。これは脂ビレと呼ばれ、スジがありません。

十勝の川では、サケの仲間の他ではワカサギなどキュウリウオの仲間だけに見られます。



オシロコマ (オソルコマ)

ドジョウの尾ビレ - 円いか三角か



フクドジョウ (チチラカイ、レクシチュッポなど)。
尾ビレは直線的に広がり三角形



ドジョウ。尾ビレは円い形

ドジョウの仲間にはいくつか区別する点がありますが、まずは尾ビレの形を見てください。

フクドジョウなら三味線のバチのように後が広がっていて、ドジョウかエゾホトケドジョウなら円くなってしゃもじのような形になっています。

そのほか、ヤマメとニジマスの幼魚はよく似ていますが、ニジマスの場合は背ビレや尾ビレに黒い点がたくさんあります。



ニジマス。背ビレや尾ビレ全体に黒い点が多い

参考文献

「日本産 魚類検索－全種の同定－」 中坊徹次 編 東海大学出版会 1993
「山溪カラー名鑑 日本の淡水魚」 川那部浩哉・水野信彦 編・監修 山と溪谷社 1989

「北海道の淡水魚」 稗田一俊 北海道新聞社 1984
「検索入門 川と湖の魚①」 川那部浩哉・水野信彦 保育社 1989
「検索入門 川と湖の魚②」 川那部浩哉・水野信彦 保育社 1990
「サケ・マス魚類のわかる本」 井田齊・奥山文弥 山と溪谷社 2000